

ADVANTEST®

2022年度（2023年3月期） 決算説明会

2023年4月26日
株式会社アドバンテスト

All Rights Reserved - ADVANTEST CORPORATION

ご注意

会計基準について

- 本プレゼンテーション資料に記載されている実績や見通し数値は、国際会計基準（IFRS）に基づいて作成しています。

将来の事象に係る記述に関する注意

- 本プレゼンテーション資料およびアドバンテスト代表者が口頭にて提供する情報には、将来の事象についての、当社の現時点における期待、見積りおよび予測に基づく記述が含まれております。これらの将来の事象に係る記述は、当社における実際の財務状況や活動状況が、当該将来の事象に係る記述によって明示されているものまたは暗示されているものと重要な差異を生じるかもしれないという既知および未知のリスク、不確実性その他の要因が内包されており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。

本資料の利用について

- 本プレゼンテーション資料に記載されている情報は、各国の著作権法、特許法、商標法、意匠法等の知的財産権法その他の法律及び各種条約で保護されています。事前に当社の文書による承諾を得ない限り、法律によって明示的に認められる範囲を超えて、これらの情報を使用（改変、複製、転用等）することを禁止します。



2022年度決算報告

取締役 兼 経営執行役員

CFO & CCO (Chief Financial Officer & Chief Compliance Officer)

管理本部長 藤田 敦司

FY22業績ハイライト

- FY22は波瀾の1年。コロナ特需の終えんと世界経済の低迷、半導体市場の落ち込みと、事業環境は年度前半と後半で大きなギャップが生じた
- そのような環境下、通期で過去最高の売上高、営業利益、当期利益を達成
 - 幅広い製品ポートフォリオとグローバル販売・サポート網の強化でシェア拡大
 - 戦略的な部材調達や生産・出荷管理など柔軟なオペレーション
 - 大幅な円安も業績を押し上げ
- ROEは過去最高の39.3%（前年度：30.4%）

FY22業績概要

(億円)

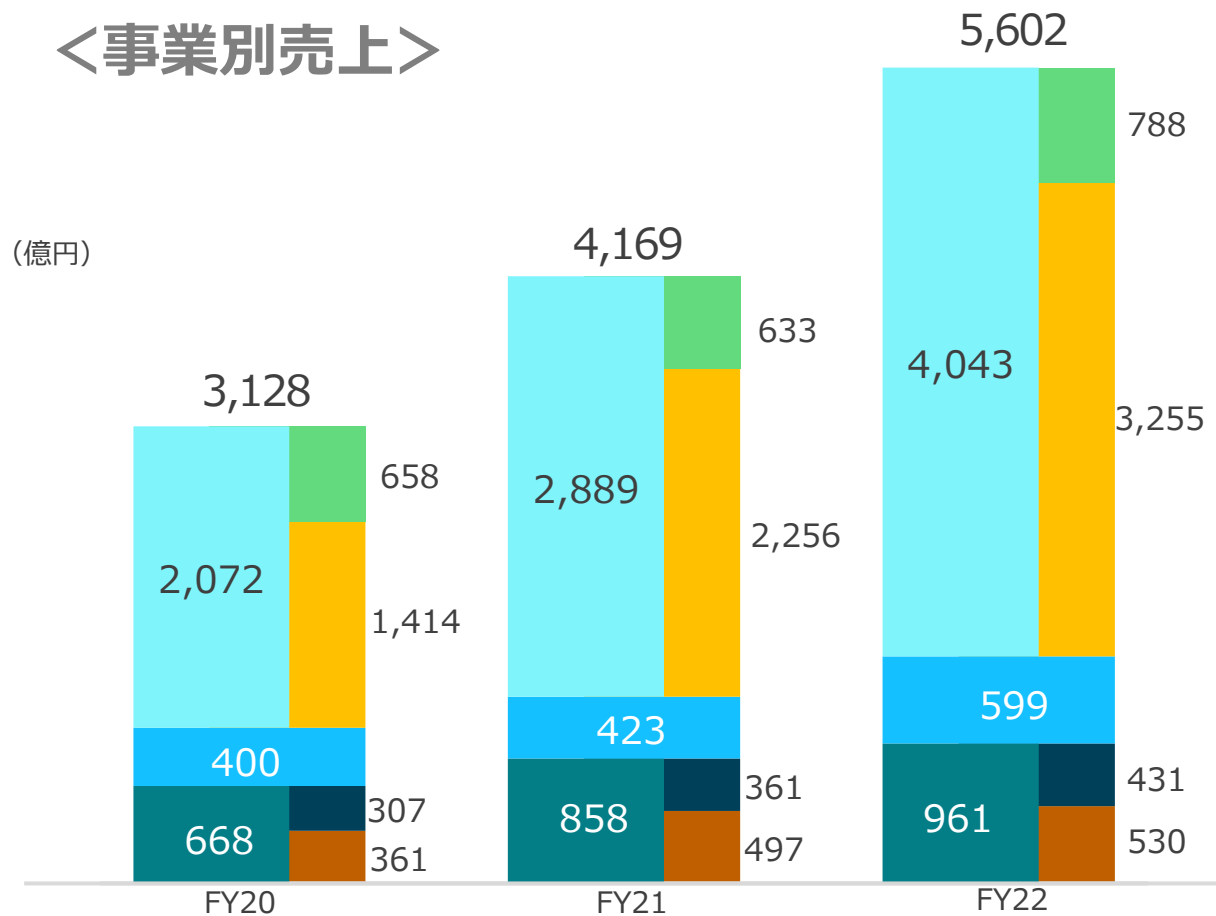
	FY21		FY22		
	実績	1月時点 予想	実績	前年度比	
				増減額	増減率
売上高	4,169	5,500	5,602	+1,433	+34.4%
営業利益	1,147	1,700	1,677	+530	+46.2%
営業利益率	27.5%	30.9%	29.9%	+2.4pts	
税引前利益	1,163	1,740	1,713	+549	+47.2%
当期利益	873	1,300	1,304	+431	+49.4%
当期利益率	20.9%	23.6%	23.3%	+2.4pts	
為替レート	1米ドル	112円	134円	134円	22円 円安
	1ユーロ	130円	139円	140円	10円 円安
1株当たり配当額 (年間)	120円	135円	135円*1	+15円	
自己株式取得額	700	-	500	-200	
総還元性向*2	107%	-	58%	-49pts	

* 1: FY22の期末配当は2023年5月19日開催の取締役会において正式決定する予定です

* 2: 総還元性向 = (配当総額 + 自己株式取得額) ÷ 当期利益

FY22売上実績 年度比較

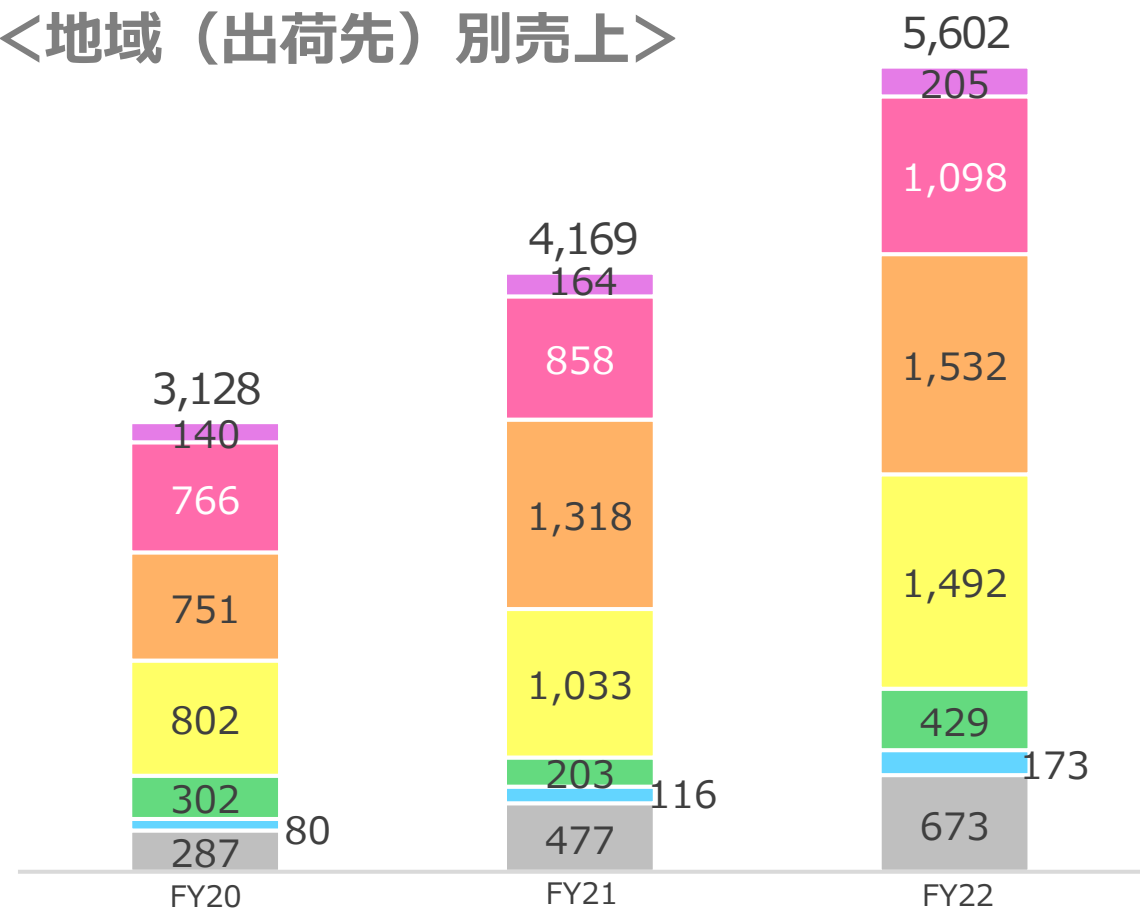
<事業別売上>



■半導体・部品 ■メカトロニクス ■サービス他 ■メモリ・テスタ ■SoCテスタ ■保守・サービス等 ■システムレベルテスタ
 ■テストシステム事業 ■関連事業

*合計にはセグメント間の内部取引の消去分が含まれます

<地域（出荷先）別売上>



■日本 ■韓国 ■台湾 ■中国 ■米州 ■欧州 ■その他

95.5%

96.1%

96.3%

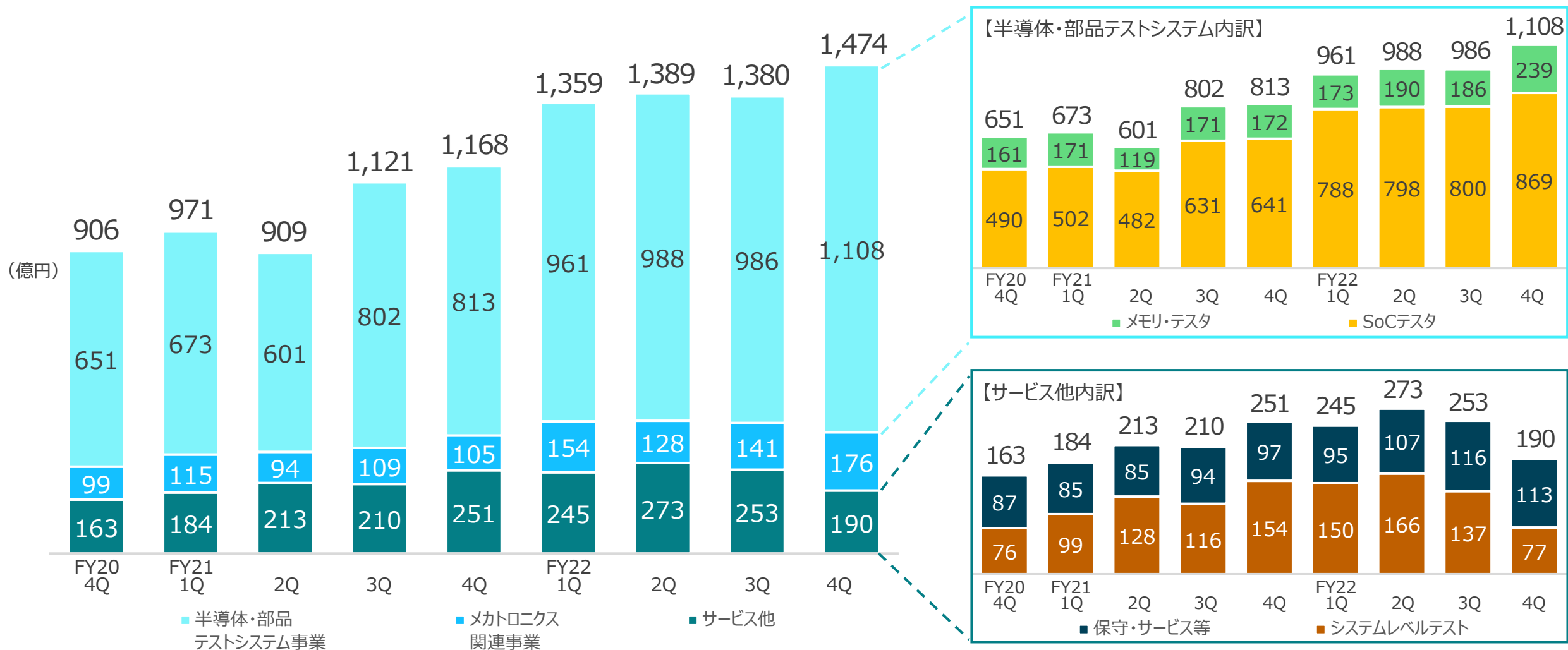
海外売上高比率

四半期業績推移

(億円)

	FY21				FY22				前期比		前年同期比	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	増減額	増減率	増減額	増減率
	売上高	971	909	1,121	1,168	1,359	1,389	1,380	1,474	+94	+6.8%	+306
売上総利益	547	501	648	663	789	799	816	787	-29	-3.6%	+124	+18.7%
売上総利益率	56.4%	55.0%	57.9%	56.7%	58.1%	57.5%	59.1%	53.4%	-5.7pts		-3.3pts	
営業利益	261	214	335	337	448	431	412	386	-27	-6.5%	+49	+14.4%
営業利益率	26.9%	23.5%	29.9%	28.8%	32.9%	31.1%	29.9%	26.2%	-3.7pts		-2.6pts	
税引前四半期利益	257	216	340	350	484	468	377	384	+8	+2.1%	+34	+9.7%
四半期利益	193	159	257	264	365	347	286	306	+19	+6.8%	+42	+15.9%
四半期利益率	19.9%	17.5%	22.9%	22.6%	26.8%	25.0%	20.8%	20.8%	+0.0pts		-1.8pts	
為替レート	1米ドル	109円	110円	112円	115円	124円	135円	144円	133円	11円 円高		18円 円安
	1ユーロ	131円	131円	130円	130円	134円	139円	144円	142円	2円 円高		12円 円安

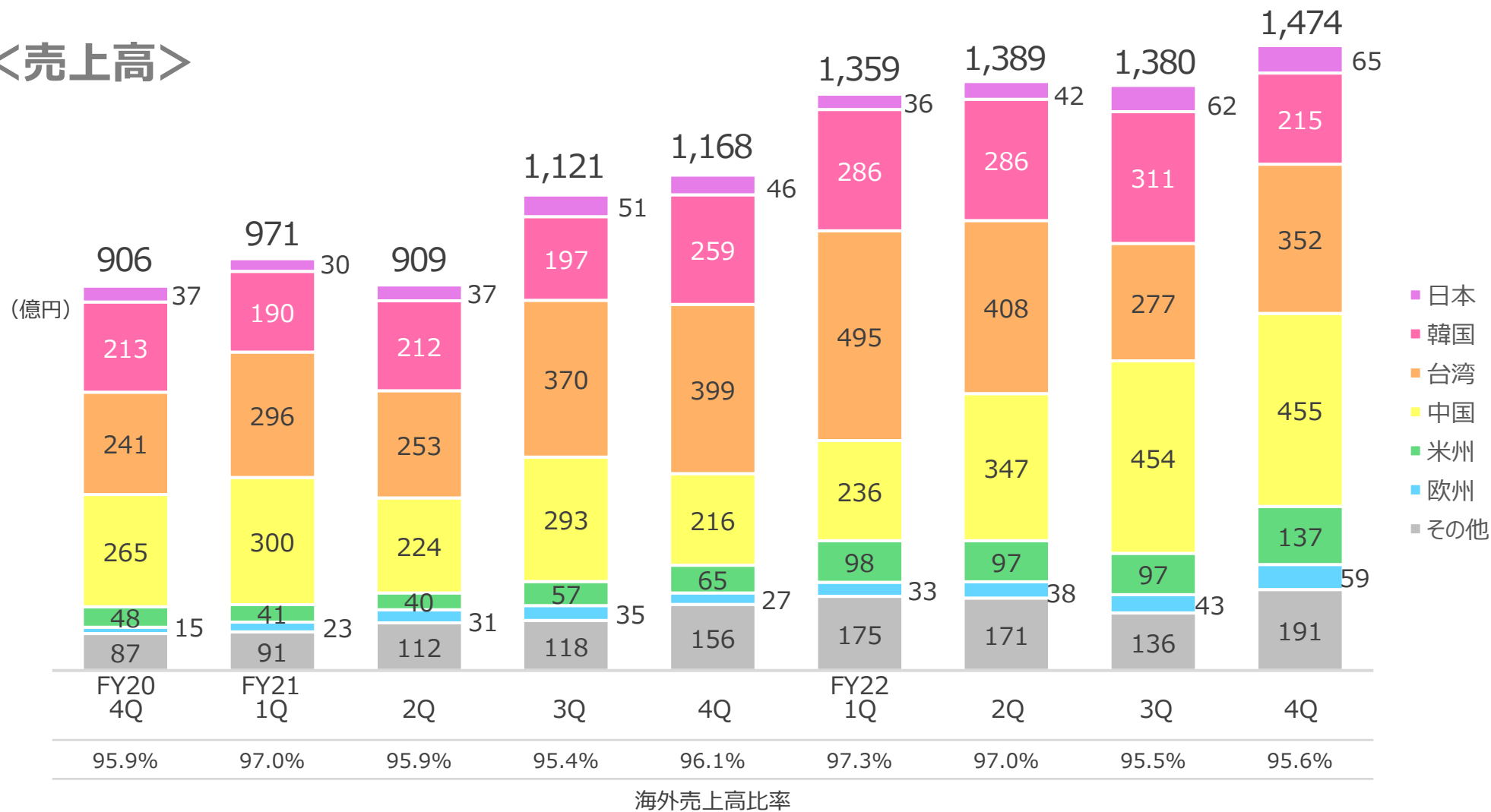
四半期売上高 事業セグメント別



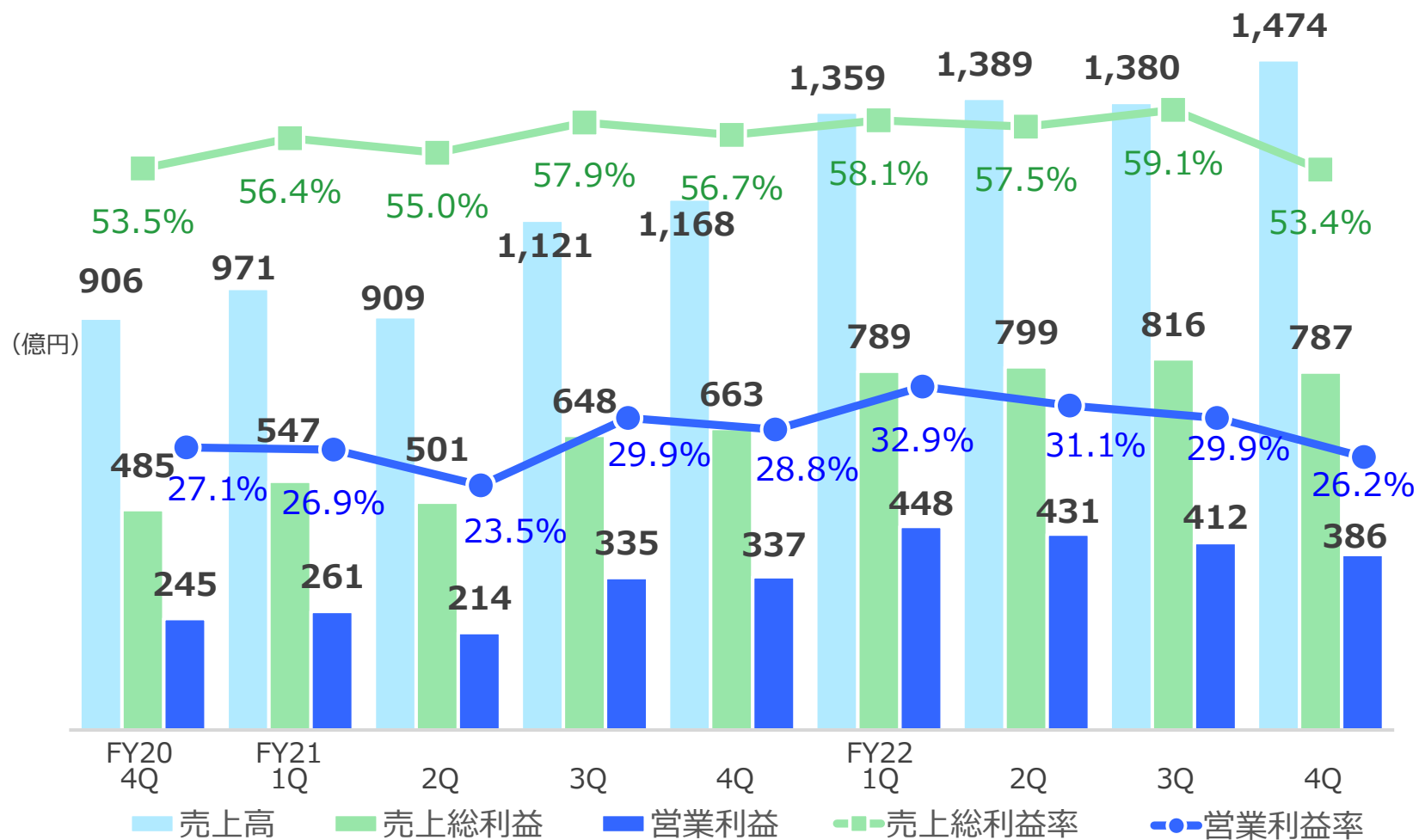
*合計にはセグメント間の内部取引の消去分が含まれます

四半期売上高 地域(出荷先)別

<売上高>



売上高/売上総利益/営業利益



(億円)

	FY21	FY22
売上高	4,169	5,602
売上総利益	2,359	3,191
売上総利益率	56.6%	57.0%
販管費等	1,212	1,514
営業利益	1,147	1,677
営業利益率	27.5%	29.9%

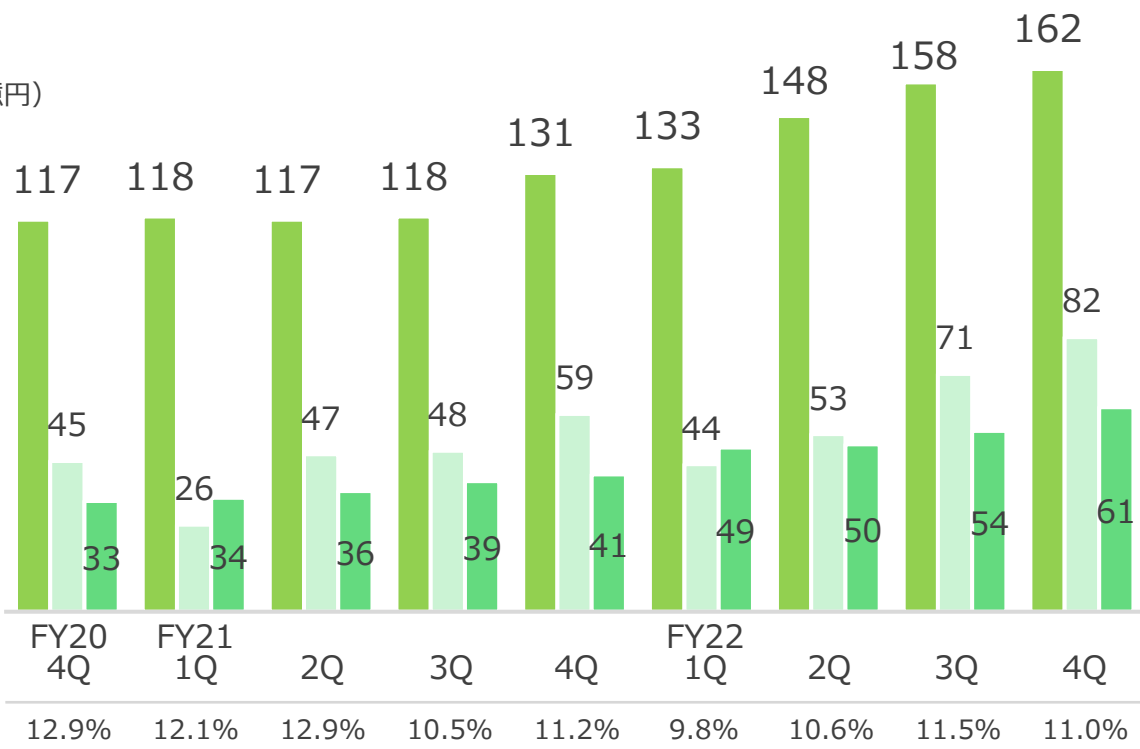
投資等/キャッシュ・フロー

<投資等>

- 研究開発費
- 設備投資
- 減価償却費

	FY21	FY22
研究開発費 売上高比率	484 11.6%	601 10.7%
設備投資	180	250
減価償却費	150	214

(億円)

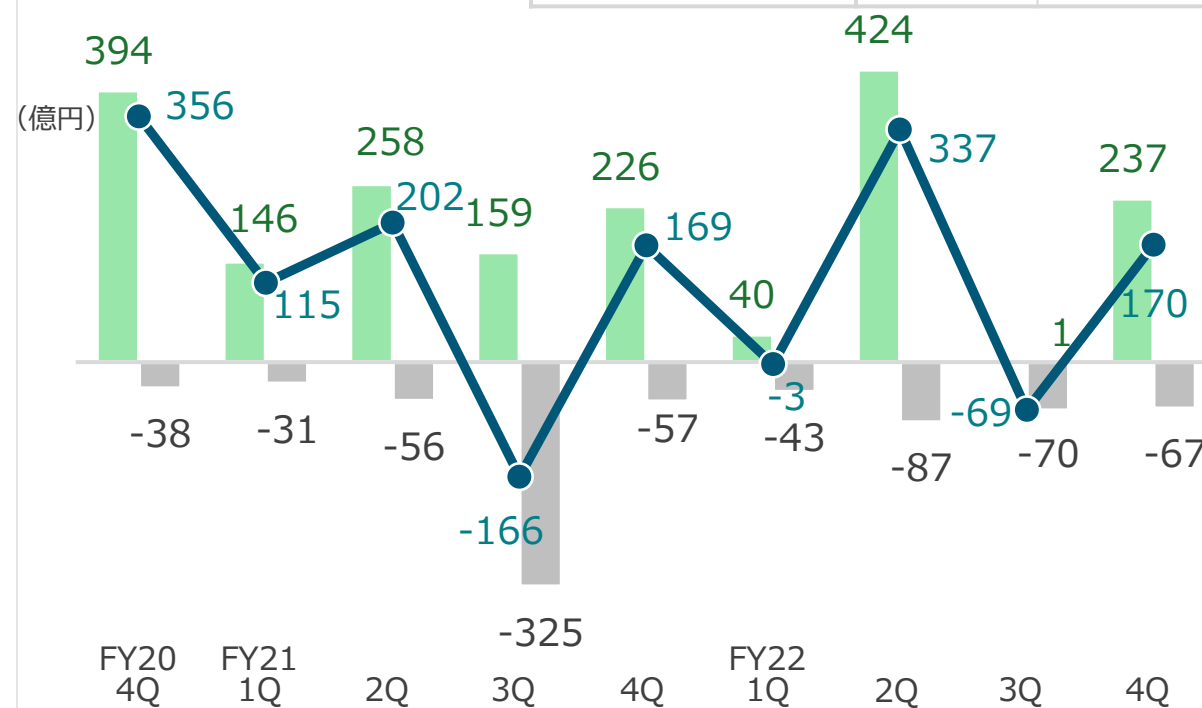


研究開発費売上高比率

<キャッシュ・フロー>

- 営業キャッシュ・フロー
- 投資キャッシュ・フロー
- フリー・キャッシュ・フロー

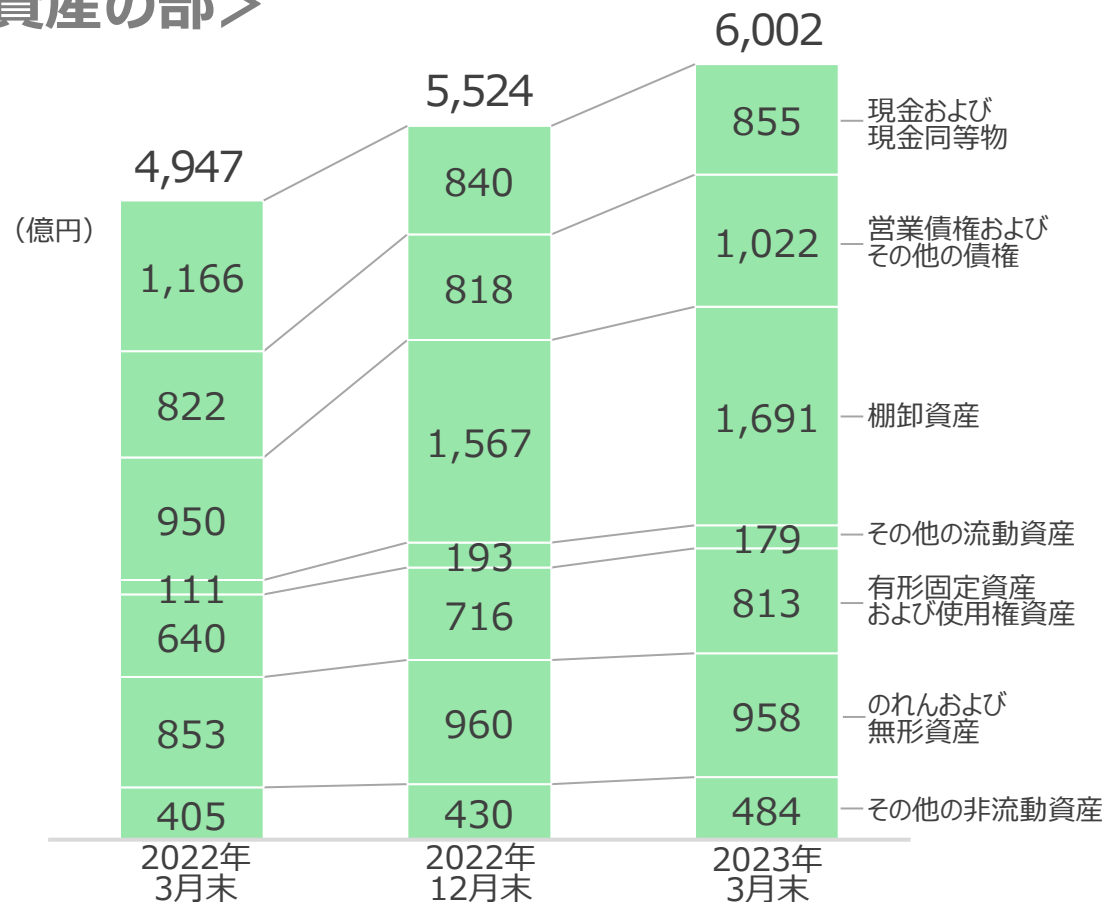
	FY21	FY22
営業キャッシュ・フロー	789	702
投資キャッシュ・フロー	-469	-267
フリー・キャッシュ・フロー*	320	435



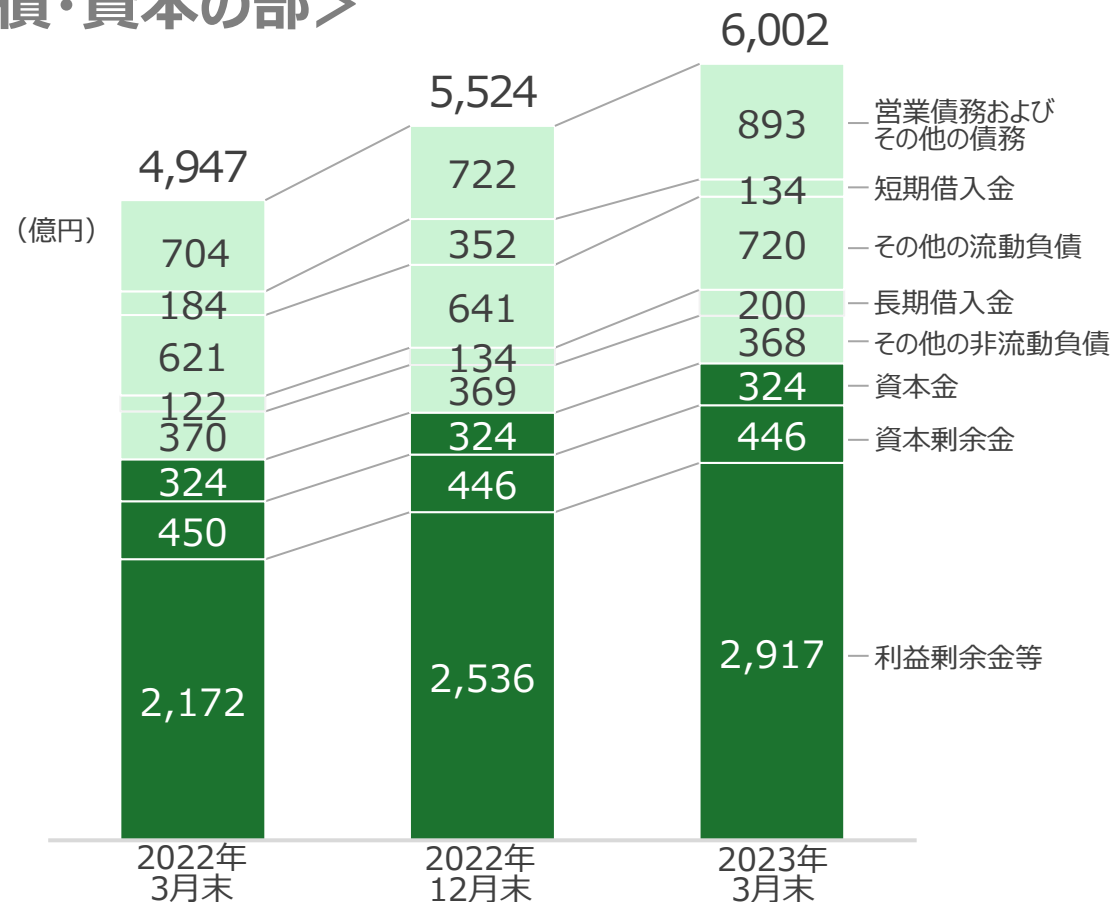
*フリー・キャッシュ・フロー = 営業キャッシュ・フロー + 投資キャッシュ・フロー

連結財政状態

<資産の部>



<負債・資本の部>



親会社の所有者に 帰属する持分	2,946	3,306	3,687
親会社所有者 帰属持分比率	59.6%	59.8%	61.4%
ROE	30.4%	-	39.3%

第2期中期経営計画（MTP2）の進捗と 2023年度事業見通し

代表取締役 兼 執行役員社長 Group CEO 吉田 芳明

第2期中期経営計画（FY21-FY23）の進捗

	第1期中期経営計画 実績 FY18-20平均	第2期中期経営計画 目標 FY21-23平均		FY21 実績	FY22 実績	FY21-22 平均実績
売上高	2,904億円	4,800~5,200億円	➔	4,169億円	5,602億円	4,885億円
営業利益率	22.3%	27~30%		27.5%	29.9%	28.7%
当期利益	601億円	980~1,200億円		873億円	1,304億円	1,089億円
ROE	29.1%	30~35%		30.4%	39.3%	34.9%
1株当たり当期利益 (EPS)	309円	510~630円		450円	697円	573円

<成長投資>

	FY21-23 投資枠	FY21 実績	FY22 実績	FY21-22 累計実績
M&A等戦略投資	1,000億円	290億円	35億円	325億円
設備投資	700億円	180億円	250億円	431億円

<株主還元>

	FY21-23想定	FY21 実績	FY22 実績	FY21-22 累計実績
株主還元額 (配当額+自己株式取得)	2,100億円以上	930億円	750億円	1,681億円

MTP2 (FY21-FY23) の進捗状況

中長期的な視座のもと、経営基盤強化と事業強化に向け5つの戦略をFY22も着実に実行

戦略

- 1 コアビジネスの強化、重点投資
- 2 オペレーショナル・エクセレンスの追求
- 3 さらなる飛躍への価値探求
- 4 新事業領域の開拓
- 5 ESGのさらなる推進

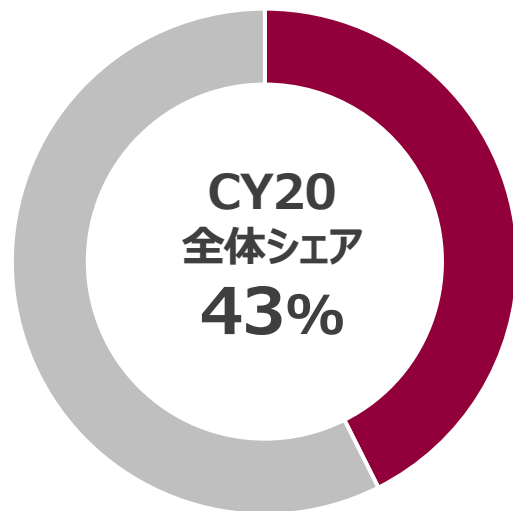
これまでの進捗

- 1 FY21より「V93000 EXA Scale」をはじめとする各テスト・ソリューションの拡充を継続。さらにFY22は、メモリ・テスト・セルの新機軸となる「inteXcell」投入や、パワー半導体用試験装置大手のイタリア・CREA社買収を通じ、成長基盤をさらに強化
継続的なセールス・サポート人員増強により、顧客ニーズへの対応力を向上
- 2 TechInsights社顧客満足度調査において、3年連続SPE業界首位を達成
グローバル・ビジネス・オペレーション・イニシアティブを発足。業務プロセスの改革を目指す
- 3 SLT事業において、AI/HPC、スマートフォン、車載関連市場を着々と深耕
テスト・インタフェース事業強化に向け、米・R&D Altanova社をFY21に買収、台湾・Shin Puu社をFY23 1Qに買収完了予定
「Advantest Cloud Solutions™ (ACS)」のサービス基盤を継続的に拡充
- 4 蛍光検出システムなど、医療機器をはじめとした新事業推進に向け体制整備
- 5 グローバル本社経営体制強化のため、CxO制を導入し経営陣のアカウントビリティを明確化
ESG高度化の母体となる「ESG行動計画」を策定・推進。事業を通じた社会貢献の拡大と、FY22におけるESG外部評価改善に寄与

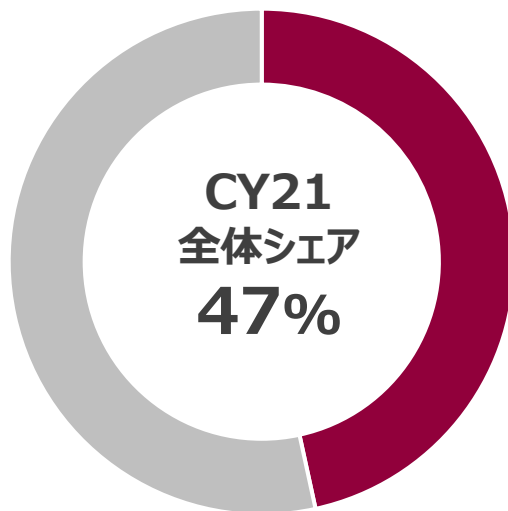
半導体テスト市場およびシェアの状況

市場規模 約\$4.2B $\xrightarrow{\text{前年比+32\%}}$ 約\$5.6B $\xrightarrow{\text{前年比-6\%}}$ 約\$5.2B

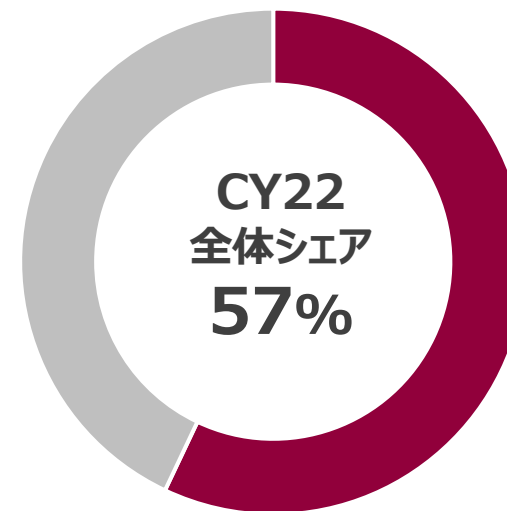
■ 当社
■ 他社



前年比
+4pts



前年比
+10pts



	市場規模	当社シェア
SoCテスト	約\$3.0B	38%
メモリ・テスト	約\$1.2B	56%

	市場規模	当社シェア
SoCテスト	約\$4.3B	45%
メモリ・テスト	約\$1.3B	51%

	市場規模	当社シェア
SoCテスト	約\$4.0B	58%
メモリ・テスト	約\$1.2B	53%

Source: Advantest

事業環境と半導体テスト市場の動向 <23年4月時点の見方>

<事業環境：景気後退リスクが一層深まる>

– インフレ進行や金利上昇などによる世界経済の景気後退リスクの増大に加え、地政学的リスクの拡大や急速な為替変動リスクも懸念

<半導体市場：前年比減少を見込む>

– 主要民生機器向けの半導体需要の減速から、関連する半導体メーカーでの在庫調整や生産調整は当面継続するものと予想

<半導体テスト市場：2年連続で規模縮小を見込む>

– 高性能半導体向けのテスト量の増加がテスト需要を一定量サポートするも、半導体需要低迷の継続により前年比規模縮小を見込む

	CY21実績	CY22実績	CY23推定
SoCテスト市場	約\$4.3B	約\$4.0B (1月時点推定: 約\$3.9B - 4.1B)	約\$3.4B - 3.8B (1月時点推定: 約\$3.5B - 4.2B)
メモリ・テスト市場	約\$1.3B	約\$1.2B (1月時点推定: 約\$1.2B - 1.3B)	約\$0.9B - 1.1B (1月時点推定: 約\$0.9B - 1.2B)

Source: Advantest

FY23業績予想

(億円)

	FY22 実績	FY23 予想	FY23 前年度比	
			増減額	増減率
			売上高*1	5,602
営業利益	1,677	1,050	-627	-37.4%
営業利益率	29.9%	21.9%	-8.0pts	
税引前利益	1,713	1,035	-678	-39.6%
当期利益	1,304	780	-524	-40.2%
当期利益率	23.3%	16.3%	-7.0pts	
研究開発費	601	630	+29	+4.8%
設備投資	250	210	-40	-16.0%
減価償却費	214	230	+16	+7.5%
為替レート*2	1米ドル	134円	130円	4円 円高
	1ユーロ	140円	140円	—

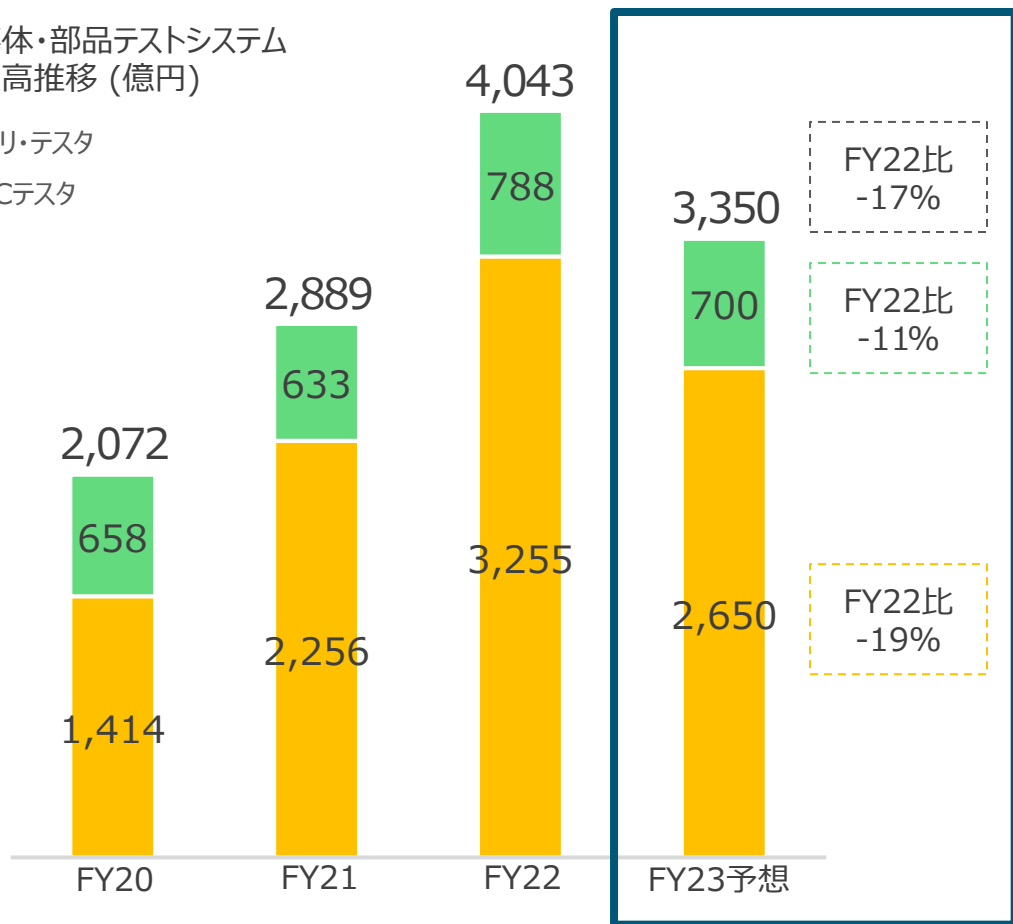
*1: 合計にはセグメント間の内部取引の消去分が含まれます

*2: 為替レート変動がFY23の営業利益に与える影響の最新見通しは、対米ドルが1円安時+11億円です。対ユーロは-3億円です

FY23見通し (事業別)

半導体・部品テストシステム
売上高推移 (億円)

■ メモリ・テスト
■ SoCテスト



半導体・部品テストシステム事業

<SoCテスト>

– 広範囲な領域でテスト投資の抑制が実施される見込み。先端プロセス品向け、成熟プロセス品向けともに需要の落ち込みを想定

アプリケーション別内訳	FY20	FY21	FY22	FY23(予)
コンピューティング・通信	55%	60%	65%	60%
車載・産業機器・民生・DDIC*	45%	40%	35%	40%

内訳比率は実数ではなく、5%近似値で丸めて表示しています

<メモリ・テスト>

– ハイエンド・メモリ向けを中心に技術投資が一定量続くものの、メモリ半導体での市況悪化の影響を受け減収を見込む

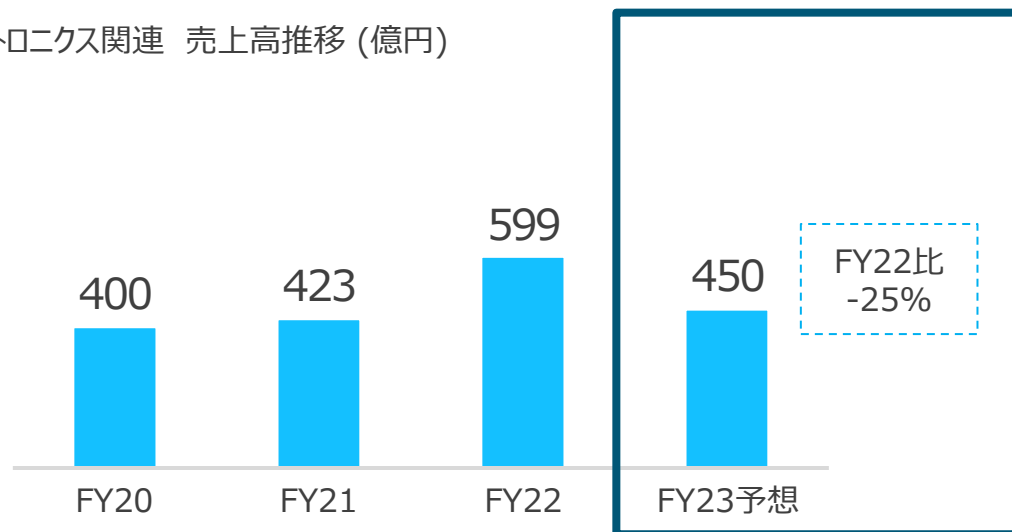
アプリケーション別内訳	FY20	FY21	FY22	FY23(予)
DRAM	60%	60%	60%	70%
不揮発性メモリ	40%	40%	40%	30%

内訳比率は実数ではなく、5%近似値で丸めて表示しています

* DDIC:ディスプレイ・ドライバーIC

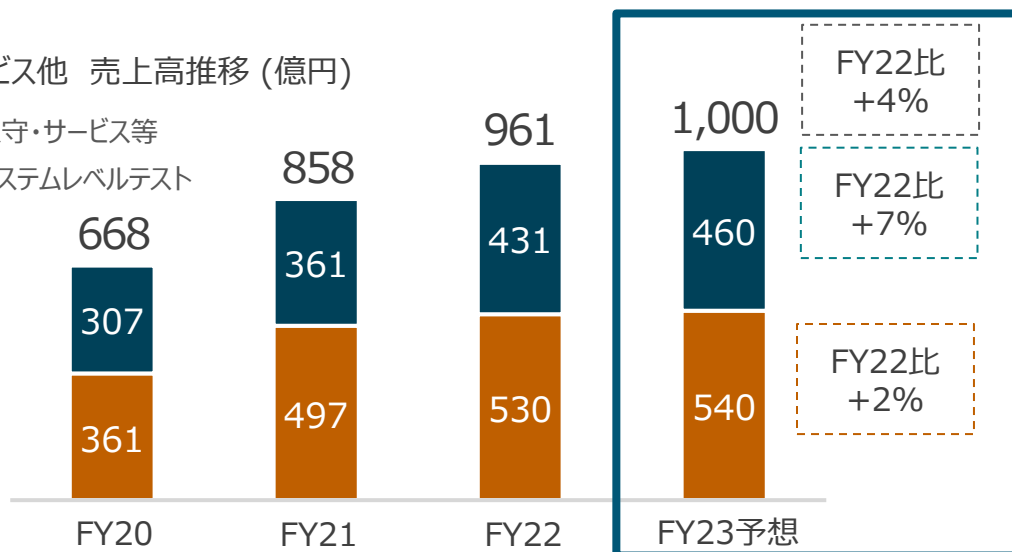
FY23見通し（事業別）

メカトロニクス関連 売上高推移（億円）



サービス他 売上高推移（億円）

- 保守・サービス等
- システムレベルテスト



メカトロニクス関連事業

- テスタ投資減速に伴い、デバイス・インタフェース製品やテスト・ハンドラは減収を予想
- ナノテクノロジー製品は、顧客におけるEUV露光の普及に加え、成熟プロセス向けフォトマスク需要増を背景に前年度並みの売上を予想

サービス他事業

- 当社製品の設置台数の着実な伸びにより、保守サービスの需要は堅調
- システムレベルテスト事業は民生機器関連での市況低迷の影響を受けやすく、前年度並みの売上を見込む

FY23の主要施策

MTP2目標の達成に向けて邁進するとともに、より強固で強靱な経営基盤づくりを目指す

- **最先端の試験技術の開発を通じた、さらなる顧客価値の創造**
 - AI関連やパワー半導体など、高成長領域のリーダー顧客に訴求するテスト・ソリューションの拡充
 - 将来の事業拡大に向けた成長投資の継続
 - 協業先との緊密な連携の元、データ・アナリティクス分野の事業基盤をさらに強化
- **オペレーショナル・エクセレンスの追求**
 - 需要変動への追従力を高めるべく、サプライチェーン管理を高度化
 - 全社オペレーションの効率向上のため、DXを積極的に活用
(グローバル・ビジネス・オペレーション・イニシアティブの活動強化)
- **中長期的な視座のもと、人的資本の高度化も含めESGのさらなる推進に尽力**

ADVANTEST®